

路地百選推薦書【No. 237】

推薦者氏名：司波 寛

推薦する路地（のまち）の名称	長崎市寺町通りとその延長区間
所在地	長崎市の中心市街地の北側フリンジ

【推薦する理由（路地のよいところ）】

江戸時代に出来た街を取り囲む丘陵地がはじまる所、市街地のフリンジに、寺（一部神社もあり）が並ぶ。どの寺も山門を入ると勾配のきつい石段を登ってようやく本堂に達する。この内、市街地南側斜面の一連の寺をつなぐ寺町通りは、寺側に垂直に近い立ち上がりの石垣、街側にしもた屋が櫛比し、石屋等の関連産業も中に混じっている。石垣は、全て江戸時代に建設されたもので、特異な景観をつくっている。隠元禅師の開設した黄檗宗の寺もあり、創建して400年近くたっている。原爆で焼けなかったが、爆風で倒壊し、元の材料を使って修復したという。寺域から上の斜面を見上げるほとんどが墓地。墓地内の石段は迷路のようになっており、これもなかなかのもの。墓地の上は風頭山を中心に緑が保全されており、寺町通りと一体に風致地区指定がされている

【写真添付】



路地	面積	約 h a	路地の延長	約 1.5 km+寺域
のま ちの 概要	まちの成 り立ち、 特色等	享和2（1802）年の肥州長崎図と言うのを見ると、既に全ての寺が画かれており、その前面の路地も出来上がっている。路地の幅員も現代の地図との重ね図を見ると全く同じである。		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。